

36

神奈川県立図書館が子ども達にできること ～児童サービス実態調査結果より～

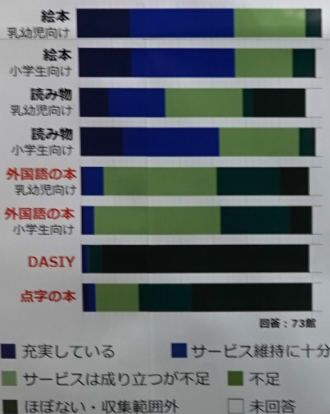
神奈川県公共図書館児童サービス実態調査 概要

目的： 県内市町村図書館における児童サービス全般の現状把握
調査対象： 県内の市町村図書館（室）73の児童サービス担当者
調査実施期間： 平成28年11月5日（土）～11月30日（水）
調査方法： メール送信により質問票を配布
回答状況： 回収数：73（回答率100%）

結果1 資料の充実度

- ◆乳幼児・小学生向けの絵本・読み物は充実
- ◆外国語の本や点字、DAISYが**不十分**

資料の充実度（報告書 図3-2）



結果2 ボランティアの現状

- ◆ボランティア活動あり **90%以上**
- ◆おはなし会の実施主体がボランティア **50%以上**
- ◆ボランティアの高齢化、人手不足

ボランティア活動の障壁（報告書 図4-6）



モノの課題

障がいのある子どもや日本語を母語としない子どもへのサービスが…

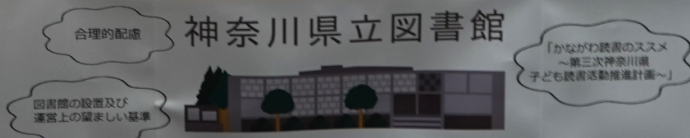


ヒトの課題

ボランティアのスキルが受け継げない…



モノとヒト双方への働きかけが、サービス強化の両輪となる！



県立図書館ができることは何か？

未来の児童サービスのために～私たちの提案

- ◆多種多様な本の提供
 - ・ L L ブックや多言語本の収集
 - ・ 相互貸借 による資料支援
- ◆ボランティアスキル継承プログラム
 - ・ 遠隔研修開催
 - ・ 教材作成、提供
 - ・ ボランティア希望者紹介

